

レジメン名 : オニバイド+5-FU/1-LV(ポンプ) 2週毎

疾患名 : 膵がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日間

総コース数 : PDになるまで

特記事項 : UGT1A1の測定

投与順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/m ² , V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp.	1 生食100mL	1	瓶	点滴静注	15分	Day1	ルート確保用
	ハロセトロン点滴静注バッグ0.75	1	袋				
	2 デキサート	9.9	mg	点滴静注	15分	Day1	
	オニバイド	70	mg/m ²	点滴静注			
	3 生食 500mL	1	袋	点滴静注 主管	90分	Day1	レボホリナートと同時に投与
	レボホリナート	200	mg/m ²	点滴静注			
	4 5%ブドウ糖液 250mL	1	本	点滴静注 側管	2時間	Day1	オニバイドの側管から投与
	5 生食 50mL	1	本	点滴静注 主管	全開	Day1	ルートフラッシュ用
	フルオロウラシル	2400	mg/m ²	インフューサー			
	6 生食 100mL	1	本	ポンプ	46時間	Day1	全量140mLとする
	7 生食シリンジ20mL	1	本	点滴静注		Day3	持続のフルオロウラシル終了後使用 フラッシュ用

減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
UGT1A1	GT1A1*6若しくは UGT1A1*28のホモ接合体、ま たはUGT1A1*6及び UGT1A1*28のヘテロ接合体	オニバイド	50mg/m ²
好中球減少	Grade3以上又はFN		
白血球減少、血小板減少 下痢	Grade3以上	オニバイド及びフルオロウラシル	1段階減量する
悪心/嘔吐	Grade3以上	オニバイド	1段階減量する
その他	Grade4以上	オニバイド及びフルオロウラシル	1段階減量する

参考文献

Nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid in metastatic pancreatic cancer after previous gemcitabine-based therapy (NAPOLI-1): a global, randomised, open-label, phase 3 trial (Lancet. 2016 Feb 6;387(10018):545-557)

オニバイド適正使用ガイド(日本セルヴィエ株式会社)